静私幼だより

組み体操、頑張ったよ

- 50周年記念企画「この50年を振り返って」
- 特集「絵本作家むらまつけーじのお絵描きのこと（その3）」
- 特集「幼稚園ICT化計画（その2）」井内 聖
- コミュニティ（保育の窓）
- 健康随想「新型コロナウイルスと子ども・保育者の健康」宮入 烈
- もの想い（認定こども園こずわ幼稚園／有度幼稚園）
- ナイスショット

こどもが まんなか PROJECT
只今全国展開中

NO.190
2020⑫
Winter

この50年を振り返って

静岡県私立幼稚園振興協会50周年に寄せて

学校法人足立学園理事長
認定こども園リーチェル幼稚園
足立一教

今年七十六歳になった自分史を振り返れば、幼稚園に携わった時間はほんの一瞬の出来事のような思いがします。母が生前残した俳句に「我が人生振りかえ見ればソーダ水」というのがあったが、まさにその心境です。

園も誕生して三十七年、協会と関わった歴史も園の歴史と同じで三十七年、常に園の運営の苦楽とともにありました。協会は一九七〇年の大阪万博という経済成長の象徴ともいえる活気ある国の興隆期に結成されました。その後世の中はバブルがはじけて活況が止まり、あとは停滞を重ね、二〇〇五年からは総人口も減り始め、今年の新型コロナウィルスが国勢の衰退に追い打ちをかけました。

協会の発足した昭和四十五年、協会園に在籍する園児は四万六千人いました。昭和五十三年の六万人をピークに後は減少をたどり、今年は三万四千人台になり、国の衰勢状況を如実に映し出しています。

国の浮き沈みは有史以来繰り返されてきたが、結局、国を支える一番の担い手は、そこに住む国民だと思います。そしてその国民を生み出す力は、国の歴史と伝統を継承した教育の賜物だと思います。その教育の一端を担うのが私たちであると、誇りを持っていいと思います。

協会構成員は同じ釜の飯を食う仲間であります。互いに切磋琢磨し、知恵を出し合い、人生で最初に学ぶ子供たちのために、日本人としての心の種を一人一人に植えていかなければなりません。

協会所属の教職員の数は五十年前には二千人、今年は約五千人。一人当たりの先生の担当する子供数は二十三人から七人と激減しています。言い換えれば現在は五十年前に比べ一人一人の子供と丁寧に向き合える素晴らしい機会を得ているのです。

これからの協会はそうした教職員への教育情報の発信や新知識の伝達、歴史や伝統の継承、福利の向上などの援護射撃をさらに積極的にして欲しいと思います。

どんな時代も「子は宝」です。二十年後の未来を背負う大事な国の宝の活躍を夢見ながら、今それぞれの園庭の一人一人の子供を豊かに一生懸命育てていきましょう。

小さな希望の泡粒を生み続け、次の世の真っ青な空にはじけさせたいと思います。

協会50周年を迎えるにあたり今想うこと

八幡聖母幼稚園園長
鈴木あき子

第68回静岡県私立幼稚園振興協会の定時総会が開催されました。「新型コロナウイルス感染」に配慮して、永年勤続表彰（38年）をしていただきました。想えば昭和50年学校法人静岡聖母学園・静岡聖母幼稚園に就職。平成22年蒲原聖母幼稚園へ。令和元年からは八幡聖母幼稚園に勤務。S、H、Rを駆け抜けてまいりました。昭和60年頃は入園願書の受付日には、朝早くから園門前に保護者が並びました。平成になると共働きも多く給食、送迎バスが当たり前となり両方をクリアしている幼稚園が人気となりました。そしてモンスターペアレント、子どものトラブルには親が掛けつけ、その対応に追われました。令和になり保育園と幼稚園を一緒にする動き「認定こども園の誕生」そして念願の「幼児教育無償化」の実施。

社会情勢が変化する中でも常に「静岡県私立幼稚園振興協会」が羅針盤となり、私どもの幼稚園を導いてくださり、不安な時は「静私幼だより」をじっくり読み納得してきました。事あるごとに私の頭に思い浮かぶ言葉は、「こどもがまんなか」です。

色々なしがらみに迷うとき、園長としてぶれてはいけないと知らされました。

そして今だから幼稚園の母体を支える先生方に伝えたいことがあります。それはIT時代の真っ只中にいる現実です。私のような者でもスマホを見てから服装、傘を持つかどうか決めます。今や大量の観測データからリアルタイムで予測、予報するスーパーコンピューターです。この他でもよく使うのが音声認識、翻訳です。検索すると的確に知りたい答えが出てきます。10年20年後の子どもたちの未来はAIの時代です。今の私には想像もできない「未来」を生きる子どもたちには、AIにはできない人間を育てたいと思うのです。それは人と関わる力、コミニュケーション能力を付ける読解力と常識、加えて人間らしい柔軟な判断ができる。認知能力も大事ですが、幼児期こそ非認知能力を意識する保育が必要ではないでしょうか。

最後に未来を切り開く子どもたちに平和が続きますように、被爆国75年の日本から平和の大切さを発信して、世界中の子どもたちの笑い声が聞こえて来ることを心から祈ります。

協会50周年を迎えるに当たり今想うこと

さゆり幼稚園園長
松下文代

幼稚園教育の任に当たり、いつしか60余年の歳月が流れた。まさに「光陰矢のごとし」の実感に迫られている。第二次大戦直後、山村僻地の小さな教会の付属園（未認可）が一牧師の手によって開設されていた。20代前半でそこを引き継いだ後の課題は認可幼稚園にすることであった。当時の協会理事長林輝彦先生にはお世話になった。その後さらに公益化するため学校法人の認可を取得。松下正巳が理事長に就任する。

子どもたちの前に立つに当たり専門職とは何か、それは生涯の私の課題であった。夏休みを利用しては、田中心理学研究所が主催する研修会、国分康孝先生主幹のカウンセリング養成講座、杉田峰康先生の交流分析の勉強は父母の教育をも幼稚園は担っていくべき課題であると認識したからである。

私立幼稚園振興協会主催の研究発表にも何回か発表の機会を与えられた。昭和49年、私立幼稚園研究大会において中部地区代表として「ある山間の小さな幼稚園の物語」、昭和50年には「わが園の生活と造形活動」、昭和54年度幼児教育実践の枝折（しおり）発表会において「幼児の生活と仕事」、昭和55年度幼稚園・幼児教育研究会では「幼児と小さないきものたち」他、それぞれのテーマで研究発表させていただいたことは、私の生涯の中でかけ替えのない貴重な体験であった。

当時の振興協会の研修委員長（兼常務理事）は、ご自身も学究肌で尊敬すべき浅場慶夫先生であった。また、大会研究部長の闊達な朝元欣笑先生が懐かしく思い出される。

当園も若い世代に移りさらに豊かな幼児教育をめざし、特長として音楽教育に力を入れる。

平成30年、「幼児と歌―『歌』に関する幼児教育の在り方―」の論文を松下のぞみが発表。極めても尽きないのが幼児教育である。

艱難、苦難を乗り越えてひたすら幼児教育一筋の道を貫いてきた行程で最も幸せであったのは、私を人間として、教師として育ててくれた幼い子どもたちとの出会いであった。

昨今の風潮は経済中心、生まれて間もない乳幼児を保育所へ預けるために空きがないからと待機児童などと呼ぶことは子どもの側からすれば幸せであろうか。子どもを産み育てる、それが人間の価値ある営みであること、そして子どもが人として幸せに育つ土台となる家庭教育の重要性を啓蒙することが、今後の幼稚園教育の重要な使命であると考える。

私立幼稚園振興協会50周年に寄せて

認定こども園
堀之内幼稚園元園長
藤本みよこ

静岡県私立幼稚園振興協会50周年おめでとうございます。協会の活動、特に研修で今も大変お世話になっていると職員から聞いております。深くお礼申し上げます。

弊園は、昭和27（1952）年12月に開園、今年創立68年目を迎えました。戦前南カルフォルニア大学に学んでいた創立者藤本一雄が「敗戦後の日本の再生は、幼児教育から」と、欧米から帰国後私財を投じ借金もし、開設にいたりました。そして、その10年後には、地域の求めに応え保育園を併設し『地域の子ども達に、幼保関係なく同じ教育を』という願いのもと、当時は全国でも珍しい幼保一元化の園として地域の要望に応えてきました（『現在のような認定こども園が普及していくことを、60年前に創立者は想像していたのだろうか？』と、時々考えます）。

1970年に静岡県私立幼稚園振興協会が設立されましたが、私は、それ以前から私立幼稚園第一部会（磐田・菊川間の私幼組織　1959～1979）に、園長代理として、9園の園長先生方と交流させていただきました。私は当時25歳の若輩者で、小学校教諭退職直後から参加し、くるみ幼稚園の小澤先生をはじめ、智光幼稚園の泉先生、こばと幼稚園の溝口先生、山名幼稚園の若林先生という明治生まれの気概に満ちた大先輩方と御一緒しました。

私学ならではの理想を求め、幼児教育の質を高める研修をする一方で、当時の園長会の一番の話題は、苦しい園経営のやりくり、保育料の値上げ、初任給、賞与の基準はいかにと：そんなことだったと記憶しています。今は、協会で〝要覧〟が取りまとめられ、情報収集・交換、行政への陳情、保育の質の向上のための研修など、協会発信、協会主催によるものが頼りになります。

ますます先の見通せない時代に、経営の苦労や痛みを分かち合いつつ、新しい時代平成30年施行の教育要領を模索していく協会組織を束ねるのは困難極まりないと想像しますが、いつの時代も、それこそがリーダー的役割を果たす者の『やりがい』であると私は考えます。ぜひ、私たち保育に携わる者は『主体的で対話的で、深い学び』（平成30年施行の教育要領）を目指すべき姿にいたしたいものですね。

今年、齢（よわい）84。園長退任後、理事として自園の将来を案じつつも、この上ない希望に満ちたこの仕事に、今でも夢を抱いております。そして、生涯学び続けたいと思います。

※子どもたちの思いに合わせて、色々なものに変身し遊んだ1970年代（40代）当時のもの

絵本作家むらまつけーじのお絵描きのこと その3

■プロフィール

むらまつけーじ（絵本作家）

1985 年静岡県藤枝市生まれ。
常葉学園短期大学保育専攻科卒業。
幼稚園教諭として藤枝にある志太幼稚園、青島こども園で 8 年間勤務。
その後、東京にあるパレットクラブスクール絵本コース 19 期修了。
現在、地元静岡県で絵本作家として活動中。
イラストや絵本の仕事をしながら、
イベントではワークショップも行っている。

著書の絵本
『いっぱいいっぱいありがとう』（2018 年出版）
『はなとりじぞう』（2020 年出版）
『しょくじんきくようのとうだんご』（2020 年出版）
『あおいけのだいじゃ』（2020 年出版）
『きつねのこうやく』（2020 年出版）
【ホームページ】 https://www.kg－baku.com
【Facebook】 Keiji Muramatsu

みなさん、楽しくお絵描きしてますか？今回で連載３回目になりました。

１回目は絵を描きたくなる、きっかけ作りに「どうぶつお絵描き」を、２回目は色鉛筆の紹介や使い方を紹介させていただきました。そして、今回３回目では今までの内容を踏まえ、ひと工夫してさらに遊びの幅を広げていこうと思います。

☆ひと工夫のお絵描き実践①

今回は簡単に誰でも実践できる、楽しんでお絵描きができるアイデアを教えられたらと思います。前々回でもお話しましたが、絵を描くことが苦手だったり、抵抗がある子にとって例えば、「クラゲをかきましょう！」と伝えたところでどのように描いていいのか、どこから描けばいいのかが分からないと思います。このような子たちは、描くことがもっと苦手になり、嫌いになってしまう可能性があります。

そんな時にぜひ活用してもらいたいのが、『ちょい足しお絵描き』です。

今は、インターネットも当たり前のように使える時代になり、イラストやぬりえも簡単にダウンロードできると思います。また、先生が描けるのであれば、絵を描いてあげてもオッケーです。

『ちょい足しお絵描き』の用意に必要なのは、「描きたい絵」と「修正ペンや修正テープ」の二つだけ！（今回紹介するのは、僕自身が描いた絵を使います。）

それでは、画像とともに紹介していきます。

①描きたい絵を自分で描くか、コピーして印刷をして用意します。（図①）

<図①>

②子どもに想像して描いてもらいたい場所を、修正テープで消す。（図②）

<図②>

③修正した絵を、コピーして完成。（図③）

<図③>

たったこれだけのひと工夫で、『ちょい足しお絵描き』の完成です！まず、土台があれば子どもたちもイメージがつきやすく、後はクラゲの目や口、模様などは自分の創造力を働かせて描き込んでいけるのです。配慮してほしいことは、ゼロベースからではなく、ベースを与えた上でお絵描きを楽しみ、描けた喜びを経験させてあげ、自信を持たせることです。

<図④>

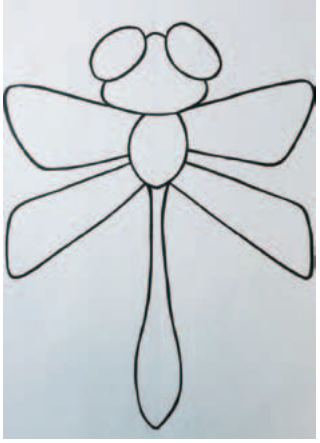
図④は、ワークショップにて子どもが作った作品になります。目の描き方や位置のひとつをとっても、個性が出てくるのが面白いです。クラゲにリボンまでつけてくれました。

もちろん、お絵描きの後は、ぬりえをして絵を完成させてみてください。

☆ひと工夫のお絵描き実践②

もうひとつ紹介させていただくのは、『ちょい足しお絵描き』プラス折り紙です。

今回は図のように、とんぼで紹介させていただきます。（図⑤）



<図⑤>

<図⑥>

『ちょい足しお絵描き』の基本は変わらないのですが、とんぼの羽根の部分だけ変化を持たせて折り紙や千代紙などを使い、ちぎって貼ってみました。（図⑥）描いたり、塗ったりすることに飽きてしまったら変化を持たせて、貼ってみることでお絵描きの幅もグッと広がっていくこと間違いありません。

折り紙をちぎって貼ることができない年齢の子でしたら、目や口は一緒に描き、羽根の部分にはシールを貼って完成させるなど各年齢、発達の段階に合わせて工夫してみてください。

ちなみに、僕自身が幼稚園教諭として働いていたときには、年長の子たちと一緒に砂に色をつけて「砂絵」などもしました。今回紹介したとんぼの羽根に、色のついた砂絵も素敵だと思います。

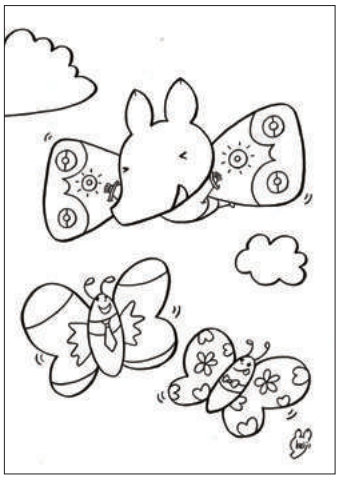
★まとめ

3回にわたって連載させていただいた、「お絵描きのこと」まだまだたくさん伝えたいことなどはありますが、今回で最後になります。

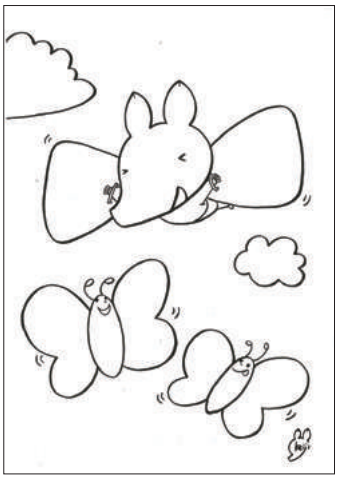
3回の連載を通して伝えたいことは、『お絵描きは楽しんで描こう！』ということです。当たり前のことを言っているかもしれませんが、お絵描きで表現することは、自由です。上手い下手も関係ありません。絵は教えるものではなく、引き出してあげること。その引き出しを導いてあげるために1回目の「どうぶつお絵描き」や今回の「ちょい足しお絵描き」などを活用して創造の幅を広げてあげることが大事だと思っています。

少しでも、保育をする上でのお役に立て、また参考にしていただけたら、とても嬉しく思います。読んでくださったみなさま、本当にありがとうございました。これからも楽しくお絵描きをしましょう!!

＊自身のホームページの方から、毎月オリジナルのぬりえを無料で配信しています。（図⑦）また、今回紹介したような「ちょい足しぬりえ」（図⑧）バージョンもありますので、ダウンロードしてお使いください。



<図⑦>



<図⑧>

幼稚園ICT化計画

特集

新しい働き方を目指して（その2）

井内　聖　（学）リズム学園学園長・恵庭幼稚園長

公立中学校教員を9年勤め、04年幼児教育へ転身。08年恵庭幼稚園長、14年学園長、学園内の保育園や子ども園の園長を歴任。北海道大学大学院教育学研究院乳幼児発達論研究室在籍。

▶平成30年北海道胆振東部地震では安平町はやきた子ども園長としてお泊まり会中に被災（震度6強）子どもの居場所として被災2日後から園を地域に開放し、応急保育を行う

▶ICT活用の先進的な取り組みは全国から注目され、毎年150人を超える視察者が訪れる

～平成30年北海道胆振東部地震～

平成30年9月5日、前日に関西国際空港を孤立させた台風21号が北海道に到達し、安平町も暴風雨によって街路樹などが倒れる被害がありました。当初朝からお泊まり会を予定していましたが、森のデイキャンプという企画だったため、森の中の安全確認と風倒木処理のため午前中の予定はすべてキャンセル。午後からのお泊まり会にしました。

森でBBQをし、森のステージでの発表会、森の中での肝試し、園庭につくった露天風呂で汗を流し2日目を楽しみに寝静まった9月6日午前3時8分、下から突き上げる音とともに大きな揺れが園を襲いました。

最大震度7、40名以上の犠牲者を出した北海道胆振東部地震です。安平町は震度6強、幸いホールで寝ていたため落下や倒壊するものがなく園児に被害はありませんでしたが、電源はすべて落ち、電話もつながりません。先生も最低限の人数しかおらず、園内の状況もわからない状況です。

～震度6強、北海道全域ブラックアウト～

まずは保護者に連絡しました。園児の中には初めて一人で自宅以外に泊まる子どももいます。親にしてみたらわが子の生存、安否が一番知りたい情報です。しかし電話がつながりません。電源も落ちています。

ただスマートフォンは生きていました。ネット回線もつながりました。園でiPhoneを持っていたので、スマートフォンのテザリング（スマホのネット回線を使ってパソコンをインターネットにつなげること）ができます。園のパソコンはすべてバッテリー駆動のものでした（Mac）。コンセントに挿さなくても7時間近く動くパソコンが8台あります。パソコンからスマホの充電もできます。

保護者との連絡は地震前から連絡アプリを使っていたので、すぐにiPhoneのネット回線を使ってパソコンから保護者に生存、安否連絡をしました。大地震発生から5分後です。

Date: Thu, 6 Sep 2018 03:13:31 +0900
Subject: [hayakitako:0550] 緊急連絡
緊急連絡 ： 【保護者各位】
【地震による状況】
【返信は要りません】
ただいま、大地震がありましたが園児の被害はありません。全員無事です。
今後の動きについてはあらためて連絡します。

Date: Thu, 6 Sep 2018 03:23:49 +0900
Subject: [hayakitako:0551] 緊急連絡
【保護者各位】
【園児、子ども園待機】園児は児童館ホールで寝ていたため落下物、揺れる物等がありませんでした。今は全員集まって過ごしています。また落下や破損の状況を見ていないため落ち着いて過ごしています。今後の状況ですが、余震が続いていますが子ども園は耐震施設ですので、しばらくはこのまま園で過ごします。

迎えに来た保護者の話から、道路がメチャメチャで車が通行できないこと、倒壊している建物もあることなどがわかりました。それを聞き、園舎の建物被害がないことから園を一時避難所として開放することにしました。避難所にするためには、割れたガラスや倒れた鉢植の土などを取り除かなければなりません。この時にもモバイルが活躍しました。掃除機をすべてコードレスクリーナーにしていたのです。

翌朝になり状況が見えてきました。電気、水道、電話すべてが止まり、自衛隊ヘリやドクターヘリが上空を飛んでいます。園の向かいにある消

防署からは救急車が絶え間なく走り、それ以外の車はほとんど見当たりません。道路が寸断されガソリンスタンドも閉鎖。何より北海道全域が停電しています。ブラックアウトが起きていました。

～被災2日後に園再開、SNSの力～

このまましばらく園閉鎖を考えましたが、そうもいきませんでした。その頃、役場職員は20時間勤務の状態。医者の子ども、自衛官の子ども、消防の子どももいます。人口8,000人の小さなマチで北海道全域がブラックアウトしている状況ではすぐに助けも来ず、被災者が被災地の復旧にあたらなければなりません。そしてその状況下でも子どもはいます。子どもの居場所がありません。そのため電気、水がない中、被災2日後から園を再開することにしました。

でも先生がいません。みんな被災者です。そこでSNSを使って保育ボランティアを募ることにしたのです。すると、北海道だけでなく全国から保育者の方がボランティアに来てくれました。多いときは一日50人。園児は60人くらい来ていました。50人も保育者が必要かというと必要です。不安から大人と離れられない子、異常にテンションが高く走り回る子、子どもの様子がいつもと違います。また水がないのでトイレには必ず大人がつきます。給食は炊き出しなので、紙皿にプラスプーンでの食事にも大人が必要です。とにかく人が必要でした。

～紙がない、誰でも見られる、どこでもできる～

被災後すぐに園を再開できた理由の一つにICT化がありました。震災当時、すでにペーパーレスだったので職員室に書棚がありませんでした。逆に言えば、倒れてくる棚や書類もなければ、復旧整理するものもなかったのです。棚と書類だらけだったら保護者や園児情報の書類を探すだけでも一苦労です。しかし、それらの書類はすべて電子データ化されていました。さらに良かったのは、そのデータがすべてクラウドにあったことです。電気が止まるとコンセントのものはすべて使えません。もしパソコンがコンセントを必要とするものだったら使えなかったでしょうし、データがハードディスクや職員室のサーバーにあったらデータは取り出せなかったでしょう。余震が続く中、先生達にこう話したのを覚えています。

「大きな余震が来たら子どもを守って身体一つで逃げること。うちの園には持ち出さなければいけない書類もなければ現金もない（電子マネー化）」

データはスマホがあればすべて見ることができます。ネットがつながっていれば日本中どこからでもアクセスできます。実際、紙で印刷しなければいけないものは30㎞離れた姉妹園で印刷し保護者に配布、掲示をしました。紙がないこと、誰でも見られること、どこでもできること。ICT化のメリットが大きく生きたのです。

～コロナ禍で進むICT化～

震災から1年半、北海道は本州より早く新型コロナウイルスの第1波が来ました。2月末から休園が始まり卒園式の開催も危ぶまれる状況。先生達がYouTubeチャンネルを開設したのは3月8日のことです。全国的に見てもかなり早かったと思います。毎日1本動画を上げ、園児や保護者とコミュニケーションをとりました。それと同時にテレワークも導入しました。保育がなければ事務的な仕事はどこでやっても変わりません。データはすべてクラウドにあるので園に来る必要がありません。職員会議や打合せはZOOMで済みます。テレワークの画面は職員室にある55インチの大画面壁掛けモニターに映し出せます。園内どこにいてもWi-Fiがつながるので職員室も分散できます。職員連絡はチャットツール（LINEのようなもの）を使い、保護者ともアプリで連絡が取れます。

これらの体制がコロナ禍より前に整っていました。そのためコロナ対応は大変でしたが、衛生面や保育にのみ対応を集中でき、働き方や職員管理などはまったく問題なく対応することができました。このことは、保護者からの信頼はもとより働く教職員に対してICT化への理解と園で働く安心感をもたらすことになりました。

今、国を挙げてデジタル化を進めています。それは単に新しい技術を取り入れたり効率化を求めるだけでなく、デジタル化をすることが災害の多いわが国にとって防災にもなるからです。もしICT化を進めてなかったら保護者連絡は滞っていたでしょう。園の復旧再開に多くの時間を要したでしょうし、職員の安全を守れなかったでしょう。困っている時に外に助けを求めることも、自宅に籠もっている親子とコミュニケーションを取ることもできなかったと思います。

園児の保育にICTは不要かもしれません。保育のスタイルは各園それぞれ保育理念があり多様性があるからです。しかし、働き方に関してはこれからの時代、ICT化が必須だと思います。とは言えパソコンを導入したからすべてが変わるわけではありません。ICT化は働き方や仕事の捉え方も変える必要があります。次回はICT導入のための業務の捉え方を紹介したいと思います。

夢だった幼稚園の先生になって

認定こども園のびる幼稚園　南條 夕海

私が幼稚園の先生になりたいと初めて思ったのは、自分が幼稚園に通っているときでした。毎日の居場所は担任の先生の膝の上でした。先生のことが大好きで、そのときから担任の先生みたいな温かくて優しい笑顔の素敵な先生になりたいと思い始めました。あっという間に月日は流れ、私は今、幼稚園の先生という夢が叶い、子どもたちと楽しく過ごしています。子どもたちと遊んで楽しむだけが幼稚園の先生の仕事ではないということを改めて実感した1年目は、慌しく、自分にゆとりがないまま過ぎていきました。満3歳児の副担任になり、先輩の先生を見ながら、何をしたら良いのかを考えて動くことが精一杯で、毎日が失敗の連続でしたが、その失敗を次に活かせるよう努力した1年間でもありました。そして2年目になり、4歳児の副担任になりました。1年目とは違い心も体も大きくなっている年中さん。言葉掛けや援助の仕方も4歳児では通用しないことも何度かありました。いろんなことを試していき、先輩たちから学んだこともたくさん吸収して、自分の良いところを活かした保育ができるようにしたいと思うようになりました。そして何より、1年目も2年目も園の子どもたちが私を大きく成長させてくれました。子どもたちからの直接の反応があり、教科書や授業では学べないことがたくさんありました。「先生～！」と言って駆け寄ってきてくれる子どもを目の前に、先生になったことを実感させてもらいました。まだまだ3年目ではありますが、年数を重ねるごとに子どもたちがどうしたら楽しく安全に遊べるのか、どのようにしたら遊びが発展するのかを考えたり、わからないことは先輩の先生に聞きながら、自分なりに考えて動くようになりました。そして現在、あっという間に3年目になり、年中組の担任をしています。年中組が2回目ということもあり、失敗をして学んだことや先輩の先生がしていて良いなと思った保育を参考にしながら自分らしく毎日頑張っています。もちろん今でも失敗だらけですが、子どもたちの反応から次はこうしてみようとか、ここはよかったからこっちは変えてやってみようというふうに毎日試行錯誤しながら、日々の保育を楽しめるようになってきました。保護者の方から、「うちの子先生のことが大好きなんです。」と言われたときはとてもうれしかったし、もっと頑張ろうと思えました。毎日うまくいかないことや思った通りにいかず、悩むこともたくさんありますが、何よりも子どもたちの笑顔が私の毎日のエネルギーになっています。これからも子どもたちが明日も園に行きたいな、そして南條先生に会いたいなと、元気に登園してくれるように、私が大好きだった担任の先生みたいになれるように、日々学びを忘れず、私自身が笑顔で楽しく、子どもたちに負けないくらい元気に過ごしていきたいと思います。

理想を現実に奮闘中

万野幼稚園　榊原 江里

私は一人ひとりの子どもの発見や感動が、その子らしい成長に繋がるような保育者になりたいと思っています。それは私自身が年長のときに体験したことが大きく影響していて、その時の場面や景色、雰囲気を今も鮮明に思い出すことができます。年長の冬に絵の具を混ぜる遊びをしました。二つの色を混ぜるとこの色になるという大きな紙に描いたレシピを黒板に貼ってありました。私はどうしても黄色と白を混ぜるとクリーム色になることが信じられず、興奮して先生に聞いたり、もっと違う色を作ったりして夢中になって遊びました。それから色作りに興味を持ち、絵を描くことがもっと好きになり、保育者になった今も、絵を描いたり、色を塗ったりするのを楽しんでいます。そして、園の子どもたちにも私のように心を動かされた体験をきっかけにもっと知りたい、もっと遊びたいと思えるようにしていけたらと思っています。

幼稚園に就職しておよそ半年、一日一日が信じられないスピードで過ぎていきました。今年は新型コロナウイルスの影響で、本来いるはずの子どもたちがいないまま、私の担任1年目がスタートしました。子どもたちがいなくても、準備することはたくさんあります。行事、制作、クラス運営など、今やるべきことに懸命に取り組みました。早く子どもたちの顔と名前を覚えて一緒に遊んだり、話をしたりしたいと思いました。ただ、時折このまま、登園すらできないのではないかと不安に思うこともありました。

そう考えていたのも束の間で、6月には全員が揃って登園。早く子どもたちに会いたいと準備してきましたが、いざ子どもたちを前にしてみると、思い描いていたようにはなりません。「ママに会いたい！家に帰りたい！」と叫んでいる子、友達より私の周りでずっと話をしている子、保育室まで来ることができず靴箱から動けない子、友達と早速楽しく遊んでいる子、一人で遊んでいる子、と24通りの姿がそこにありました。理想の前に、このままでクラスを運営していけるだろうかと、また不安になることもありました。

子どもたちが揃って登園してから3か月過ぎ、いつの間にか1年の半分が終わりかけています。子どもが発見したことをきちんと受け止め切れているか、感動に寄り添えているか、自問自答しながらこれからも理想の保育を目指していきたいと思います。

子どもとの出会い

新屋幼稚園　渡仲 彩乃

幼稚園教諭になり七年目を迎えます。私は中学の時、職場体験で新屋幼稚園に行きました。その時、幼児期の経験はその子の人生に関わる程大切な時期だと教えていただきました。子どもが大好きな私は、子どもと歌ったり、楽しく遊びながら一人一人の成長する姿を想像し、幼稚園教諭を志望しました。憧れの幼稚園教諭になりましたが、自分の描いていた保育通りにはいかず、戸惑うことばかりです。

四年目の年長担任でY君と出会いました。思うようにならないと奇声をあげ、保育者を叩きクラスから飛び出していく、毎日追いかけその間他児との関わりができない、どうしようと悩み、先輩や同僚に相談したり、母親と面談を沢山してきました。幼稚園の先生は辛い、大変だなあと思ってしまいました。

しかし、クラスの中の子ども達をよく見ると、Y君がどこかへ行こうとすると追いかけ、Y君の気持ちを聞こうとしてくれたり、一生懸命わかるように話している姿を目にしました。Y君に優しく接してくれている、子どもって凄い！と思い、そういう子ども達に育ってくれていることが本当に嬉しく温かい気持ちになりました。

その後、Y君はADHDと診断されましたが、ADHDだからではなく、Y君は我慢することが苦手で、思いのまま言葉や態度で表現してしまうことがわかり、ゆっくり話を聞いたり、気持ちを受けとめていくように心がけました。そのように関わっていく中で、Y君の笑顔も見られ、落ち着いて生活できる日が少しずつ増え、卒園式では日々の事を思い出したり、これからも応援しているよ！と思うと、涙が溢れました。

通常級に入学したY君は、お母さんと一緒に学校にいることが多かったのですが、三年生になった今日「皆と同じように頑張っています」とお母さんが知らせてくれました。これからの成長が本当に楽しみです。

年々、クラスの中は一対一の関わりを必要としている子が増えているように思います。「○○ができる、できない」でその子を見るのではなく「こんなことをしてみよう」「あんなことをしたら、この子はどんな反応をするだろう」と子どもの心を深く見る努力をしていこうと思います。まだまだ悩むことも沢山ありますが、私自身子どもから学ぶことも多く、子ども達の成長の変化に驚かされたり、感動を沢山頂いています。

これからも一人一人の子ども達との関わりを大事にし、子どもが幼稚園で経験したこと、学んだことが、今後に繋がっていくことを楽しみに保育をさせていただきたいと思います。

憧れの先生を追いかけて…

掛川こども園　大石 佳奈

『大きくなったら、先生みたいになれるかな？』幼稚園に通っていた当時、担任の先生に聞いたことを今でもよく覚えています。笑顔が可愛い優しい先生が本当に大好きだった私は、先生が持っていたエプロンを買ってもらったり、同じように髪の毛を伸ばしたりと、子どもながらに憧れを抱き、自然と〝将来の夢は、幼稚園の先生〟となっていました。

幼稚園の頃の私は、自分の気持ちを口にすることが得意ではなく、上手くいかないことがあると、よく泣いていた記憶があります。それでも幼稚園が大好きで、毎日楽しく通うことができていたのは、いつでも私の話を聞き、寄り添ってくれた先生のおかげです。楽しい思い出をたくさんくれたこと、どんなときでも支えてくれたこと、とても感謝しています。

憧れだった幼稚園の先生となり、夢を叶えたぞ！と喜んでいたのも束の間。大勢いる子ども一人一人と向き合う楽しさと難しさ、日々の活動のどれをとっても、保育者の様々な思いや意図が込められていること、保護者の方とのコミュニケーション…、夢を追いかけていただけの自分には、気づくことのできなかった現場の想像以上の大変さに、心がいっぱいになってしまうこともありました。しかし、そんな私を気に掛けてくれた先輩方はとても魅力的で、〝私もあんな先生になりたい〟と、見よう見まねで保育をし、相談にのってもらいながら送る日々は、苦しくも楽しく、少しずつ保育者としての本当の自覚を感じることができるようになっていきました。

今年で7年目となりました。当時大好きだった先生と同じ年になり、なんだか不思議な気持ちです。今私は、毎日子どもたちと一緒に過ごす日々が本当に楽しいです。笑ったり泣いたり、めまぐるしく変わる子どもたちの表情や成長していく姿、私に向けてくれる笑顔や言葉を受け止められる立場にあることを幸せに思っています。こんなにも素敵な夢を与えてくれた先生にはやはり、感謝してもしきれません。先生のようになれているかは分かりません。ですが、いつか胸を張って〝私、先生になったよ〟と報告できるよう、前に進み続けたいです。

健康随想 1

新型コロナウイルスと子ども・保育者の健康

①子どもの新型コロナウイルス感染症の特徴

※次回以降　②手洗い・マスク・消毒　③治療とワクチン

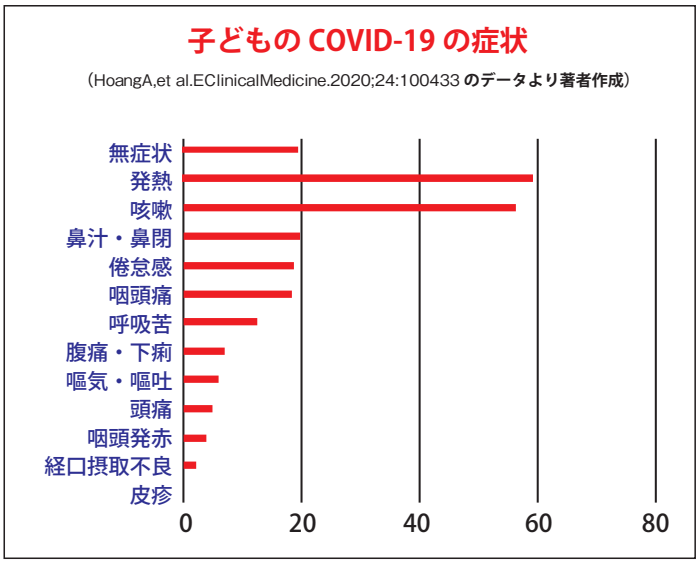
宮入　烈

国立成育医療研究センター
感染症科診療部長
感染制御部統括部長

新型コロナウイルス（COVID-19）とともに生きる生活になり、もうすぐ1年がたとうとしています。本当にお疲れ様です。沢山の情報に振り回され、心配が絶えない日々に限界を感じる事もあると思います。冷静に対応するには、事実と意見（専門家の見解も含めて）を区別して、自分なりに情報を消化する事が必要です。子どもにおけるCOVID-19に関する情報を3回にわたってお送りします。初回は子どもが感染した場合の症状や感染経路についてお伝えします。

（1）子どもがCOVID-19に感染するとどのような症状がでますか？

子どものCOVID-19は、成人と比較して感染者の数が少なく、症状が軽いことが特徴です。感染者が少ないのは、接触の機会が限られるだけではなく、実際にかかりやすさが成人の半分程度とする調査結果もあります。図1は子どものCOVID-19感染者にみられる症状を八千人近い患者データをもとにあらわしたものです。約20％の子どもは症状もなく治っています。一番多い症状は発熱と咳と報告されていますが、程度の記載がないのでピンとこないと思います。私たちが診た患者さんたちは、症状のないお子さんが多く入院中も元気に遊んでいました。症状があっても37℃台の微熱が1～2日、咳が2～3日続く程度の「軽い風邪」で、普段であればかかりつけ医にかかるかどうか迷うくらいだと思いました。



（図1）

（2）子どものCOVID-19が重症化した時にどのような症状がでますか？

その一方で、一部の患者において、「小児多系統炎症性症候群」とよばれる状態に陥り、重症化する事があります。多くは学童後期以降の年齢の子どもで、男女差はありません。欧米からの報告がほとんどですが、アジア人には少なく、日本からの報告も現時点でははっきりしたものはありません。発熱のほかに多くの場合は下痢や皮疹を伴い、心臓の機能が低下することもあります。一部は典型的な川崎病の症状（発熱・リンパ節腫脹・皮疹・結膜炎・口唇紅潮）を認めることもあります。これらの患者において、新型コロナウイルスがPCRで検出されることや、抗体が陽性になる事があります。感染から回復する際に、私たち自身の免疫が過剰に反応した結果、全身の炎症が起こったものだと考えられています。今後、国内でも多くの子どもが感染した時には、このような患者が発生する可能性はあり注意が必要です。

（3）子どもから子ども、子どもから大人に感染しますか？

日本小児科学会が行っている「データベースを用いた国内発症小児Coronavirus Disease 2019（COVID-19）症例の臨床経過に関する検討」によると、子どもの感染者の周囲で先に感染した者の内訳は、家族が77％、保育園や幼稚園の関係者が8％、学校関係者が5％、他が10％となっています（二〇二〇年一〇月時点、五〇〇人以上）。保育園・幼稚園関係者のうち7割が保育士等の成人でしたが、学校関係者の場合は7割が他の学童でした。接触機会の多い成人が感染して、子どもにうつす事が多い一方で、子どもから子ども、子どもから成人への感染も十分起こり得ることがわかります。無症状の子どもから排出されるウイルスの量は成人と変わりがなく、また便からもウイルスが長く排泄されることが知られていて、症状がなくても子どもの体液などに触れる際にはしっかりと手洗いをすることが大事です。

COVID-19の病気としての負担が子どもには比較的少ない事は、幸いなことです。感染対策をしっかりと守る事は必要ですが、この事実は様々な優先順位を考える上で念頭に置くべきだと私は思います。

こずわ幼稚園とわたしたち

認定こども園こずわ幼稚園保護者
木村 幸治

こずわ幼稚園は昭和二十九年に開園された歴史ある幼稚園です。現在、長男が年少でお世話になっています。三年前までは長女も在籍していて、いまは小学生になりましたが、こずわ幼稚園が大好きで今も園で行っている放課後預かり保育の「うさぎランド」に参加しています。今年度から園舎が新しくなり、長男は開放感あふれるエントランスにある本棚が、長女はホールの壁に設置されたボルダリングがお気に入りです。新園舎には給食室も完備され美味しい給食が毎日食べられて長男も妻も喜んでいます。

かつて私の妻と妻の姉もこずわ幼稚園へ通っていました。プリティバンドという鼓笛隊を運動会で披露したり、お遊戯会での演劇や合唱・合奏をしたりすることは当時から行われていて、長女がプリティバンドを披露したときは、妻がとても感慨深かったと話していました。幼稚園のイベントに参加すると妻も同級生やその親御さんに出会ったりするので、親・子・孫でお世話になっている家庭も多いように思います。

ある時、子供のお迎えを近所のおばあちゃまにお願いしたところ、園長先生がその方のお孫さんのことを随分前に卒園したのにも関わらず覚えていてくれ「お孫さんはお元気ですか?」と声をかけてくれたと大変喜んで話をしてくれました。またその際に、新しい園舎を見学させてくれて非常に嬉しかったと伺いました。こずわ幼稚園は地域に根差し、地域の皆さんとともに歩んでくれる幼稚園だなと感じています。

たいへん歴史あるこずわ幼稚園ですが、新しい園舎とともに新しい取り組みもまた始まりました。スマートフォンアプリでのおしらせ配信をはじめ、子供の様子を動画や写真で見れたり、写真をスマートフォンから購入できたりなど、私たち夫婦は共働きなので園に見学に行くのは難しいのですが、おかげで子供の様子を知ることができています。給食をほおばる姿やプールではしゃぐ姿を動画で見られて、子供は元気に楽しく園で過ごしているのだなと嬉しく思っています。

コロナ禍で大変な状況でも、いつも笑顔で子供たちを見守ってくださる先生方・関係者の方々に心から感謝いたします。これからも地域と共にあるこずわ幼稚園に期待しています。

親子二代で役員を務めて…

有度幼稚園　保護者会
青木 愛子

私が保護者会役員として活動を始めて、本年で3年目を迎えました。上の娘が園に通うようになって「ママは何で幼稚園に来ないの?」の一言がきっかけで保護者会に少しずつ興味を持ち始めました。

実は私自身本園の卒園児なのですが、母も当時保護者会役員として活動をさせていただいておりました。そんな母に相談をしたところ「幼稚園の保護者会の仲間とは子どもたちが成長した今でも交流があり、それはすごく有難いことだと思っている」「今この年齢だからこそたくさんかかわりを持つことができる」と聞き、私も役員になることを決意しました。

1年目は、子どもが帰ってきてから話をしてくれていた園の様子を自分の目で見る機会が増え、保護者会の仲間と楽しく活動をさせていただきました。

2年目からは娘も年長になり、園生活を思い出に残る特別なものにしてあげたい、更にお世話になった園に対して私たち保護者が何ができるのかを話し合い、先生方と相談しながら現在も活動をさせていただいております。2年間はあっという間でしたが、数ある園行事にもたくさん携わらせていただいており、普段なかなか目にすることのできない子どもたちの成長を間近で感じることができています。

幼稚園という学びの場で、子どもたちは日頃先生方に見守っていただきながら、一人一人の個性を大切に、元気にのびのびと自主性を育てていただいています。私たち役員は、心と身体が成長していく様子を先生方と一緒に間近で日々見ることができ、何かをした時の子どもたちからもらう〝ありがとう〟の言葉は本当に心が温かくなります。

子どもたちと一緒に過ごす時間を共有できることは人生の中のほんの一時で、そんな貴重な時期に多くの思い出を作らせていただけることも保護者会役員だからこその経験だと思っております。

今後も大好きな幼稚園生活の中で、子どもと共にたくさん成長させていただけることを楽しみに活動をさせていただきたいと思います。

静私幼だより
NO.190
2020.12.15

ナイスショット

いっぱい掘るぞ～!

積木に夢中!

カマキリ み～つけた!!

おいしいお弁当

連続跳びに挑戦中!

たくさんのおいも!

秋みーつけたっ!

おいしそうな梨。落とさないようにそ～っと

将来のピカソです

“トリック オア トリート”

【編集後記】　世間では、コロナウイルス第3波の到来やGotoキャンペーンについて連日騒がれています。しかし、園児たちにとってそんなことはどこ吹く風。外の気配は段々と冬めいてきましたが、毎日半袖で元気に園庭を走り回っています。その姿を見守る大人たちは、日に日に服の枚数が増えている今日この頃……。

コロナにも寒さにも負けず、元気な子どもたちをお手本に過ごしていきたいです。

広報委員/こばとこども園　稲葉俊隆

発行人／千葉　一道
編集人／足立　武裕
広報委員会

発行所／(一社)静岡県私立幼稚園振興協会
〒420-0853
静岡市葵区追手町9番26号
静岡県私学会館内
TEL.054(254)6820・FAX.(255)3694

http://www.shizushiyou.or.jp/
E mail: office@shizushiyou.or.jp

印刷／(株)三創　レイアウト・イラスト　村松麗子

このQRコードを携帯電話の「QRコードリーダー」で読み込めば、協会HPの携帯サイトにそのままアクセスできます。